

カスタム画面作成ツール FANUC PICTURE をマスタするための

オンデマンドセミナー CNC FANUC PICTURE

タッチパネル式機械操作盤や、工具管理機能、加工実績管理など、お客様独自のカスタム画面を作成できるツールの FANUC PICTURE の、基礎から応用までを一步一步習得することができます。なお、このセミナーを利用するには、CNC の基本的な操作と PMC ラダープログラムの基礎知識をお持ちであれば、より高い成果を得られます。

下記リンクからサンプルをご覧ください。ぜひご覧ください。

<https://www.kcc.knowledgewing.com/el2/srv/experience/index?cd=FANUC&cid=38922&lang=jp>

動画コンテンツ (一部不掲載)

【標準表示器用アプリを作る】【iHMI 用アプリを作る】

はじめに、ラベルコントロールを使い、カスタム画面に文字を表示してみます。プロジェクトの設定で画面サイズや言語設定を行い、シンボルの登録、コントロールのプロパティなどを理解し、CNC に組み込むデータを生成します。一連の作業手順を習得しましょう。



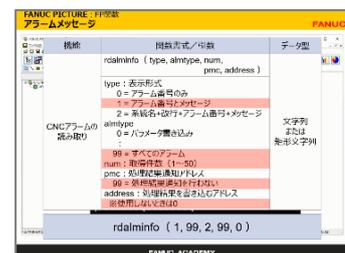
【ボタンとランプ】

ボタンには、押しボタンのほかトグルボタンやグループタイプのボタンもあります。これらを使い、タッチパネル式機械操作盤を作ります。また、ある条件では操作ができないようなインタロックの設定なども勉強します。そして、ランプコントロールを使い、運転状態などを表示します。



【FP 関数】

FP 関数を使用すると、CNC の現在位置情報や工具補正量、PMC パラメータなどを読み書きすることができます。ここでは、FP 関数の使い方を説明し、機械操作盤に実行中の加工プログラムと運転状態表示を追加するサンプルで FP 関数の基本的な使い方を勉強します。



【絶対座標】【座標の切り替え】

absolute 関数を使い、絶対座標表示を作ります。軸名称は CNC パラメータを読み取り表示することで、軸構成が異なる機械に対応するようにします。この絶対座標を子画面化して、さらに相対座標と機械座標の子画面を作り、切り替えて表示する方法を勉強します。



【工具番号表示】【スクリプト】【少し高度なスクリプト】

PMC 読み取り関数を使い、データテーブルの工具番号をイラスト上に表示します。また、テンキー入力機能を使い、工具番号を書き換える方法を勉強します。FP スクリプト機能で工具補正量を表示し、ボタンを押すごとに補正量を一定量増減する機能を作ります。



【折れ線グラフ】【メッセージ表示】

主軸負荷をグラフ表示する画面と、PMC 信号などをトリガとしてメッセージを表示する方法を勉強します。履歴メッセージ機能を使うと、メッセージの履歴が管理できます。また、親画面の上にポップアップ画面を開いてメッセージを表示する方法も勉強します。



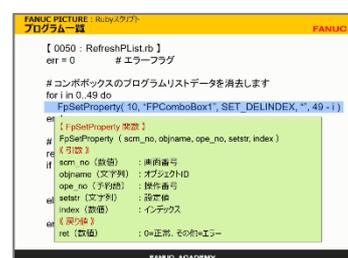
【パターンデータ入力】

量産品を加工する機械では、注文に応じてカスタムマクロ変数を書き換えて対応することも多いと思います。マクロ変数の入力を支援する案内画面を作成して作業性を向上してみませんか。スクリプト機能を使って入力したデータの良否判定も可能で、うっかりミスを防止できます。



【プログラム管理】

コンボボックスを使ったプログラムサーチや、リストボックスを使った加工開始時刻や終了時刻、加工時間などの加工実績表示、時間帯別加工実績棒グラフ表示などを作ります。Ruby スクリプトの使い方が勉強できるサンプルです。ぜひ高度な画面作りに挑戦してみませんか。



テキストとサンプルプロジェクト

対面式のアカデミ講習会のテキストのほか、動画で説明したサンプルプロジェクトのファイルを提供します。動画とテキストを見ながらご自身で一から作りながら勉強することもできますし、完成済みのサンプルを開いて FANUC PICTURE の機能を勉強することもできます。

期間・料金

利用期間 : 28 日

利用料 : 88,000 円 (税込)

特典 : 本オンデマンドセミナーを利用された方が、半年以内に CNC FANUC PICTURE のアカデミ講習会を受講された場合に、オンデマンドセミナー受講料の半額分をアカデミ講習会受講料から割引させていただきます。是非ご活用ください。